



# ～渡良瀬遊水地～ 自然紹介



2026.6.26

じっとりとした天気。今年の梅雨は短く少雨でしたが、今のところ台風も続々発生して梅雨らしい天気が続いていますね。乾燥化が進んでいる遊水地では恵みの雨となっています。植物ではシロバナタカアザミやノジトラノオ、ノカラムツなどの初夏の花々が咲き始めました。谷中湖ではコアジサシの群れが飛び交い、あちらこちらで谷中湖にダイブする姿が見られます。普段とは一味違う趣ある梅雨の遊水地へどうぞお出かけください。



シロバナタカアザミ (キク科)



イヌゴマ (シソ科)



ゴマの香りが  
するのはこちら!



ゴマノハグサ (ゴマノハグサ科)

準絶滅危惧 (NT)



絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

ノカラムツ (キンポウゲ科)

つぼみが多い中、開花したところだけにハナムグリが群がっていました。その名の通り花粉に潜って花粉や蜜を食べることからハナムグリと名付けられたそう。



オニグルミ (クルミ科)



雨粒が玉になる!



イシミカワ (タデ科)

## ノジトラノオ (サクラソウ科)



絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

## オカトラノオ × ヌマトラノオ 交雑種



## イヌヌマトラノオ らしきもの (サクラソウ科)

交雑種だけに変異も多く、一般的に言われているイヌヌマトラノオは葉の付け根が赤くなるとあるが、この個体は葉の付け根の赤みがない。また近くにオカトラノオはなく、理由は不明。



## ヌマトラノオ

7~8月ごろ開花

## ～ 野鳥情報 ～



## コヨシキリは ほかの野鳥のさえずりを真似する!?



絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

## セイタカシギ (セイタカシギ科)



複雑な声でさえずるコヨシキリ。埼玉県における調査では、少なくともモコチドリ、ヒバリ、ツバメ、セッカ、オオヨシキリ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ等の8種の鳴き声をまねているそう。(Hamao & Eda-Fujiwara 2004)

## コウノトリ (コウノトリ科)

絶滅危惧ⅠA類 (CR)

水面にダイブして魚をとる様子が谷中湖で見られます!

## コアジサシ (カモメ科)

絶滅危惧Ⅱ類 (VU)



2026年  
6月24日の様子

小山市の人工巣塔で生まれたコウノトリたちの羽ばたき練習が盛んになってきました! ヒナたちの体つきもスマートになって、4羽とも巣立ちできそうな雰囲気。今回はひかるとレイの7年連続の子育て経験がいかされた結果でしょう。素晴らしいですね♪